

平成 22 年 度

# 仙 台 市 水 道 事 業 会 計

## 決 算 説 明 資 料

- 1 決 算 の 概 況
- 2 事 業 実 績 表
- 3 予 算 決 算 比 較 表
- 4 建 設 改 良 事 業 の 概 要
- 5 東 日 本 大 震 災 の 影 響 に つ い て

仙 台 市 水 道 局

# 1. 決算の概況

本年度の水道事業は、平成 22 年 3 月に策定した「仙台市水道事業基本計画」(平成 22 年度～平成 31 年度)及びその実施計画である「仙台市水道事業中期経営計画」(平成 22 年度～平成 26 年度)に基づき、お客さまに安全・安心で良質な水を供給するため、経営基盤を強化するとともに、水道施設の整備を図りながら安定給水の確保に努めてまいりました。

事業実績につきましては、年間総配水量が 1 億 2,261 万 7 千立方メートルで、前年度と比較して 36 万立方メートル(0.3%)の増、年間有収水量が 1 億 1,485 万 6 千立方メートルで、113 万立方メートル(1.0%)の増となりました。有収率は、前年度より 0.7 ポイント向上して 93.7%となりました。

経営面につきましては、宮城県の仙南・仙塩広域水道の受水料金が初めての値下げ改定となり、営業費用が抑制されたほか、事務事業の見直しに努め、経営基盤の強化に取り組みました。

次に、建設改良事業につきましては、配水管整備事業で、老朽鑄鉄管等更新工事や配水管新設工事等を行い、36 億 1 千 1 百万円を支出し、配水管延べ 25,991 メートルを布設しました。また、施設整備事業では、高森送水ポンプ場電気設備・自家発電設備更新工事を行ったほか、災害時の被害拡大防止や迅速な災害復旧が可能となるよう配水ブロックの再編成等を行い、19 億 1 千 5 百万円を支出しました。

財政状況につきましては、収益的収支(消費税及び地方消費税抜き)において、総収益が 260 億 6 千万円、総費用が 246 億 3 千 1 百万円で当年度純利益は 14 億 2 千 9 百万円となり、これを前年度繰越欠損金 28 億 8 千 2 百万円から差し引いた残額の 14 億 5 千 3 百万円は、未処理欠損金として翌年度に繰り越しました。

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災においては、水道管の約 1,000 か所が破損し、約 23 万世帯で断水が発生しました。地震発生直後から応急給水を行うとともに、破損した水道管については配水幹線から支管の順に漏水調査と修繕を行い、順次、給水エリアを拡大していき、3 月 29 日には、津波や地滑り等の被害を受けた地域を除き、ほぼ市内全域で水道水の供給を再開することができました。

以上が決算の概況でございますが、東日本大震災の影響による需要の動向等を見極めながら、今後とも経営基盤の強化や災害にも強い水道づくりに取り組み、安全で安心な水道水を安定的にお届けできるよう、なお一層の努力を重ねてまいります。

## 2. 事業実績表

区 分 \ 年 度	単 位	平成22年度 (E)	平成21年度 (F)	対前年度比較	
				増減(△減) (E-F)	比率 (E/F)%
計画給水区域内人口 (A)	人	1,024,725	1,023,429	1,296	100.1
給水人口 (B)	人	1,019,713	1,017,407	2,306	100.2
年間総配水量 (C)	m <sup>3</sup>	122,616,563	122,259,082	357,481	100.3
( 仙 台 市 配 水 量 )	m <sup>3</sup>	( 118,073,756 )	( 117,648,061 )	( 425,695 )	( 100.4 )
( 他 市 町 分 水 量 )	m <sup>3</sup>	( 4,542,807 )	( 4,611,021 )	( △ 68,214 )	( 98.5 )
配水能力	m <sup>3</sup> /日	430,815	449,815	△ 19,000	95.8
一日平均配水量	m <sup>3</sup>	335,936	334,956	980	100.3
一日最大配水量	m <sup>3</sup>	380,824	373,452	7,372	102.0
使用給水栓数	栓	401,701	399,366	2,335	100.6
年間有効水量	m <sup>3</sup>	117,737,348	116,588,278	1,149,070	101.0
年間有収水量 (D)	m <sup>3</sup>	114,855,582	113,727,363	1,128,219	101.0
配水管延長	km	3,343	3,325	18	100.5
職 員 数 ( 管 理 者 除 く )	人	420	421	△ 1	99.8
普及率 (B/A)	%	99.5	99.4	0.1	-
有収率 (D/C)	%	93.7	93.0	0.7	-

### 3. 予算決算比較表

(収益的収支)

(単位：千円)

区 分 科 目	平成22年度 予 算 額					平成22年度 決 算 額 (B)	増 減 額 (△ 減) (B) - (A)	翌 年 度 繰 越 額
	平 成 当 初 予 算 額	補 正 予 算 額 (△ 減)	予 備 費 支 出 額	流 用 増 減 額	合 計 (A)			
水道事業収益	27,040,305	420,000	0	0	27,460,305	27,327,718	△ 132,587	0
営業収益	25,780,755	420,000	0	0	26,200,755	26,020,969	△ 179,786	0
給水収益	24,800,485	420,000	0	0	25,220,485	25,100,304	△ 120,181	0
受託工事収益	105,815	0	0	0	105,815	51,453	△ 54,362	0
その他営業収益	874,455	0	0	0	874,455	869,212	△ 5,243	0
営業外収益	1,257,449	0	0	0	1,257,449	1,296,633	39,184	0
受取利息	18,000	0	0	0	18,000	23,516	5,516	0
不動産賃貸料	31,625	0	0	0	31,625	27,700	△ 3,925	0
水道加入金	750,859	0	0	0	750,859	779,532	28,673	0
他会計補助金	447,683	0	0	0	447,683	444,117	△ 3,566	0
国庫補助金	1,530	0	0	0	1,530	1,327	△ 203	0
雑収益	7,752	0	0	0	7,752	20,441	12,689	0
特別利益	2,101	0	0	0	2,101	10,116	8,015	0
固定資産売却益	1	0	0	0	1	7,270	7,269	0
過年度損益修正益	2,100	0	0	0	2,100	2,846	746	0
水道事業費用	26,448,885	235,211	0	0	26,684,096	25,653,301	△ 1,030,795	210,499
営業費用	23,855,430	219,000	0	△ 29,785	24,044,645	23,047,439	△ 997,206	210,499
人件費	3,870,425	173,000	0	0	4,043,425	3,806,603	△ 236,822	0
物品費	367,134	20,000	0	6,332	393,466	306,086	△ 87,380	0
経費	5,167,574	60,000	0	△ 12,376	5,215,198	4,670,644	△ 544,554	210,499
受水費	7,077,196	0	0	△ 29,785	7,047,411	6,947,431	△ 99,980	0
減価償却費	7,164,251	△ 34,000	0	0	7,130,251	7,119,532	△ 10,719	0
資産減耗費	208,850	0	0	6,044	214,894	197,143	△ 17,751	0
営業外費用	2,515,000	16,211	0	29,656	2,560,867	2,557,330	△ 3,537	0
支払利息	2,084,917	△ 78,789	0	△ 671	2,005,457	2,005,398	△ 59	0
繰延勘定償却	108,392	0	0	0	108,392	108,392	0	0
消費税及び 地方消費税	319,491	95,000	0	25,327	439,818	438,818	△ 1,000	0
雑支出	2,200	0	0	5,000	7,200	4,722	△ 2,478	0
特別損失	48,455	0	0	129	48,584	48,532	△ 52	0
過年度損益修正損	47,600	0	0	129	47,729	47,728	△ 1	0
その他特別損失	855	0	0	0	855	804	△ 51	0
予備費	30,000	0	0	0	30,000	0	△ 30,000	0
当年度純損益(税込み)	591,420	184,789	—	—	776,209	1,674,417	898,208	—
当年度純損益(税抜き)	271,840	263,596	—	—	535,436	1,429,015	893,579	—
繰越利益剰余金 (△繰越欠損金)	△ 2,882,086	0	—	—	△ 2,882,086	△ 2,882,086	0	—
未処分利益剰余金 (△未処理欠損金)	△ 2,610,246	263,596	—	—	△ 2,346,650	△ 1,453,071	893,579	—

(注) 消費税及び地方消費税込みの額である。ただし、当年度純損益(税抜き)、繰越利益剰余金及び未処分利益剰余金については、消費税及び地方消費税抜きの額である。

## (資本的収支)

(単位：千円)

区 分 科 目	平成22年度予算額					平成22年度 決算額 (B)	増減額 (△減) (B)-(A)	翌年度 繰越額
	当初予算額	補正予算額 (△減)	流用 増減額	繰越額	合計 (A)			
水道事業資本的収入	4,152,958	△ 1,320,000	0	1,179,005	4,011,963	3,398,725	△ 613,238	573,992
企業債	3,300,000	△ 1,300,000	0	859,000	2,859,000	2,376,000	△ 483,000	483,000
固定資産売却代金	1	0	0	0	1	5,701	5,700	0
出資金	433,595	0	0	40,648	474,243	446,115	△ 28,128	18,172
開発負担金	217,331	△ 20,000	0	0	197,331	172,565	△ 24,766	0
負担金	191,421	0	0	125,378	316,799	230,552	△ 86,247	72,820
その他資本的収入	10,610	0	0	0	10,610	12,963	2,353	0
国庫補助金	0	0	0	153,979	153,979	154,829	850	0
水道事業資本的支出	12,968,272	△ 637,676	0	2,248,758	14,579,354	11,252,160	△ 3,327,194	2,577,707
建設改良費	7,451,349	△ 571,000	0	2,248,758	9,129,107	5,803,892	△ 3,325,215	2,577,707
配水管整備事業費	3,782,658	△ 148,000	△ 94	1,470,815	5,105,379	3,610,637	△ 1,494,742	1,100,236
施設整備事業費	3,340,825	△ 419,000	94	613,227	3,535,146	1,915,433	△ 1,619,713	1,383,795
受託等工事費	327,866	△ 4,000	0	164,716	488,582	277,822	△ 210,760	93,676
企業債償還金	5,387,878	△ 66,676	0	0	5,321,202	5,320,273	△ 929	0
開発費	129,045	0	0	0	129,045	127,995	△ 1,050	0
差 引	△8,815,314	△ 682,324	0	△ 1,069,753	△ 10,567,391	△ 7,853,435	2,713,956	△ 2,003,715
補てん財源	10,505,458	205,313	0	1,069,753	11,780,524	10,610,225	△ 1,170,299	2,003,715
消費税及び地方消費税 資本的収支調整額	319,580	△ 24,283	0	100,217	395,514	245,402	△ 150,112	118,193
損益勘定留保資金	7,425,040	△ 34,000	0	969,536	8,360,576	6,446,810	△ 1,913,766	1,885,522
当年度純損益	271,840	263,596	0	0	535,436	1,429,015	893,579	0
前年度繰越金	2,488,998	0	0	0	2,488,998	2,488,998	0	0
当年度末資金剰余額	1,690,144	△ 477,011	0	0	1,213,133	2,756,790	1,543,657	0

(注) 消費税及び地方消費税込みの額である。ただし、補てん財源及び当年度末資金剰余額については、消費税及び地方消費税抜き額である。

## ○資金不足比率

(単位：千円, %)

資金不足額	事業規模(※)	資金不足 比率
(A)	(B)	(A)/(B)
0	24,739,186	-

※事業規模＝営業収益－受託工事収益（消費税及び地方消費税抜き）

#### 4. 建設改良事業の概要

(単位：千円)

事業名	平成22年度 事業費	主たる事業
配水管整備事業	3,610,637	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 老朽铸铁管等更新工事 (口径 100～600ミリ 15,159.4 m)</li> <li>・ 配水管新設工事 (口径 100～500ミリ 7,742.1 m)</li> <li>・ 配水管等整理 (口径 30～150ミリ 3,089.2 m)</li> </ul> <p style="text-align: right;">計 25,990.7 m</p>
施設整備事業	1,915,433	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中原2号隧道改修工事</li> <li>・ 体験型研修施設建設工事</li> <li>・ 広瀬川水管橋耐震補強工事</li> <li>・ 高森送水ポンプ場電気設備・自家発電設備更新工事</li> <li>・ 非常用飲料水貯水槽(西多賀中学校)設置工事</li> </ul>
受託等工事	277,822	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 仙台駅東第二土地区画整理地内配水支管新設工事</li> <li>・ 富沢駅周辺土地区画整理地内配水支管新設工事</li> <li>・ 国道45号線苦竹二丁目地内配水支管移設工事</li> </ul>
計	5,803,892	

(注) 消費税及び地方消費税込みの額である。

## 5. 東日本大震災の影響について

### (1) 被害状況

#### 断水状況

最大断水戸数 約 23 万戸（断水人口 約 50 万人） 断水率 約 50%

#### 施設等の主な被害状況

被害額 約 11 億円（管路関係 約 8 億円，その他施設等 約 3 億円）

施設分類	被害の概要
浄水施設	浄水処理に影響する損傷はなし 停電により自家発電にて浄水処理継続（最大で 3 月 15 日まで）
配水施設	・安養寺配水所 池内導流壁一部倒壊，法面崩落，進入路地割れ ・青葉山隧道配水所（調査中） ・管路修繕件数 約 1,000 件（4/7 の余震分含む。）
庁舎	・国見庁舎 室内壁・天井ボード脱落多数 ・卸町庁舎 室内壁・天井ボード脱落多数
検査機器	ガスクロマトグラフ質量分析計破損，液体クロマトグラフ破損， 臭素酸計破損，シアン計全損

#### 復旧状況

断水は，津波の被害の大きかった地区や避難勧告区域等を除き，ほぼ解消しています。施設については，現在本格的な復旧を進めているところです。なお，調査中につき，復旧時期が未定のものもあります。

### (2) 平成 22 年度決算への影響

収入については，水道料金の請求を 2 ヶ月ごと（一部事業者を除く。）に行っていることなどから，平成 23 年 3 月分の基本料金減免や，断水などによる使用水量の減少に伴う減収の多くが平成 23 年度決算への計上となるため，平成 22 年度決算への影響は限定的なものにとどまっています。

支出については，応急復旧に要した経費などの費用が計上されています。

その他，平成 22 年度決算への影響として，事故繰越の発生なども挙げられます。

### (3) 平成 23 年度以降への影響・課題

断水による一時的な減収のほか，大口使用者の操業停止，地域経済の低迷等による給水収益の減収も一定期間続くものと想定され，今後厳しい経営環境になることが予想されます。

水道事業の具体的な実施計画である「仙台市水道事業中期経営計画」においては，震災の影響を踏まえ，建設改良事業の優先順位を見直すなど，平成 23 年度以降の事業内容の調整を行うとともに，なお一層の経営効率化を進めることにより，引き続き安全・安心で良質な水道水の提供に努めてまいります。